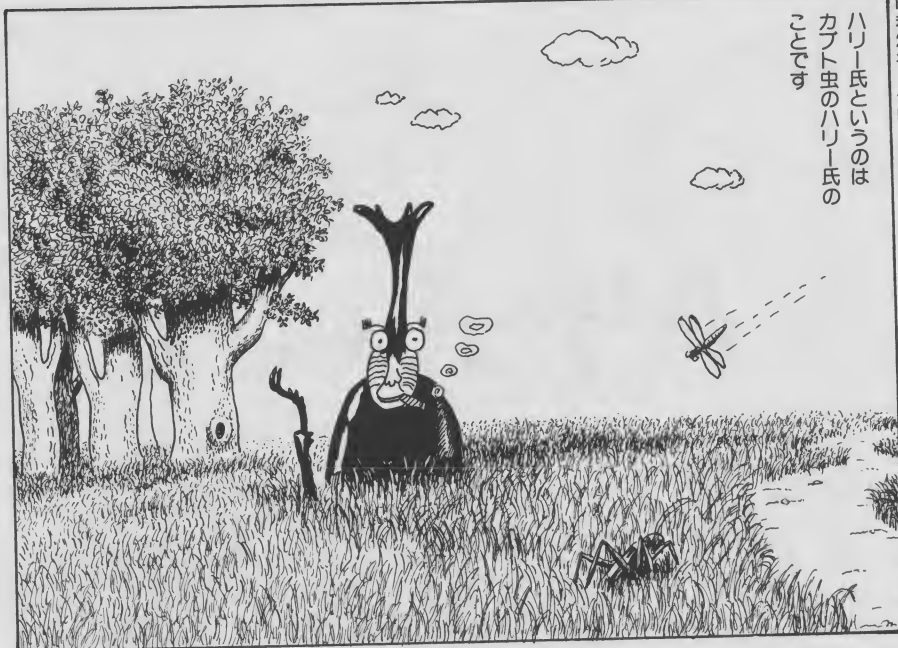
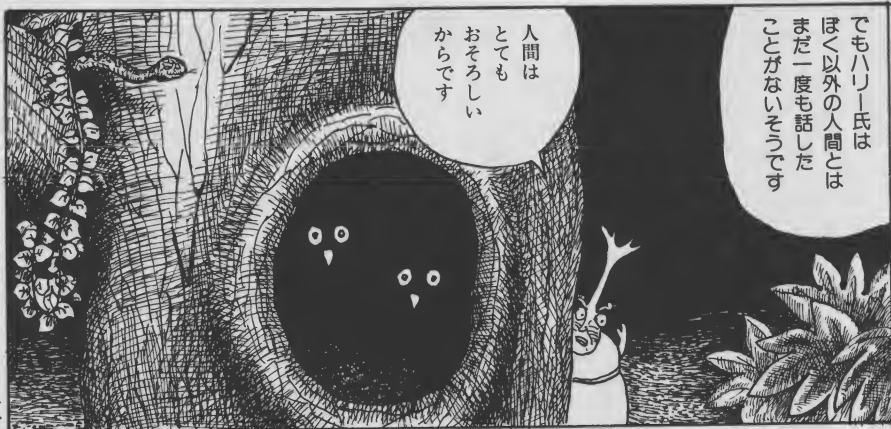
入選作品

ハリー氏のこと

松尾ひろし

昭和27年、長崎に生まれる。デビュー作「ハリー氏のこと」('77・12月号)。代表作「無重力都市」「ポリプの奇蹟」。現在、仕事をしながら文学研究と家事育児に没頭。

でもハリー氏は
ぼく以外の人間とは
まだ一度も話した
ことがないそうです

人間は
とても
おそろしい
からです

青春期の不安や彷徨の体験の記憶としてガロは今でも私のなかにひっそりと生き続けています。創刊20周年だということですが、今後もがんばって発刊を続けてください。

1977.8.19撮影

パシャ

ある夜
裏山の近くに
流れ星が
落ちたので……

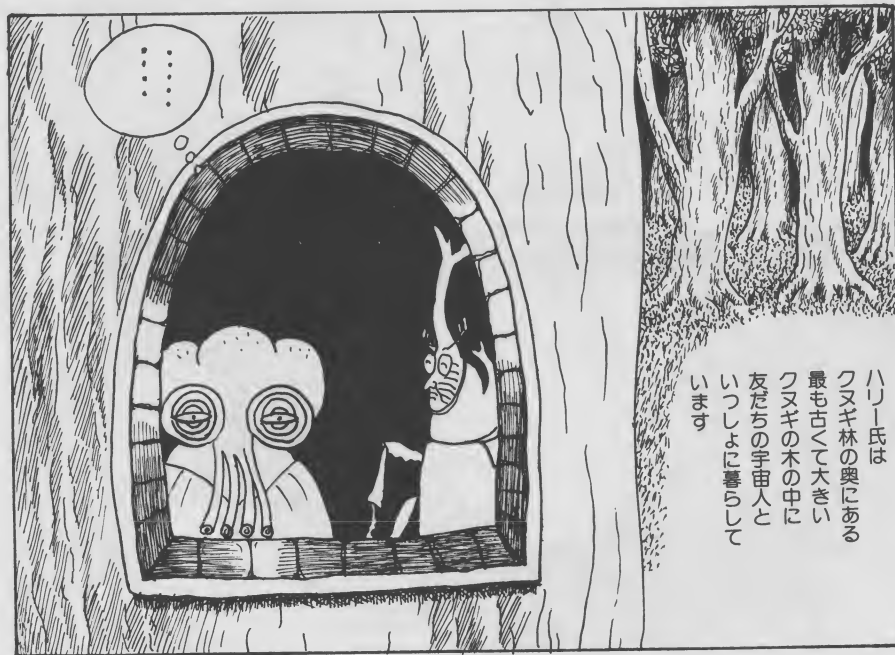
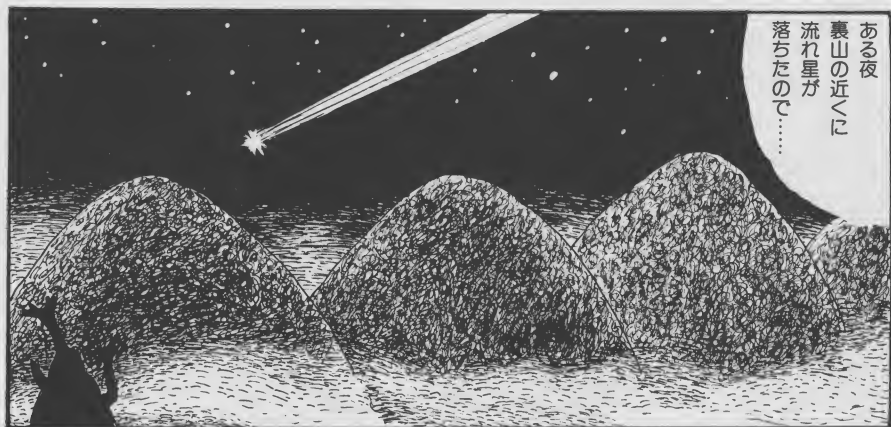
見に行ってみると
そこにこの宇宙人
がいて……
いったい何が
気にいったのか
…
…

それ以来
ハリー氏の
家に居候を
決めこんでしまった
のだそうです
…

でもぼくは
まだ一度も
その宇宙人と
会ったことが
ありません
どうにも
こうにも
人見知りが
激しくて
困ったもの
です……
彼には

チュー

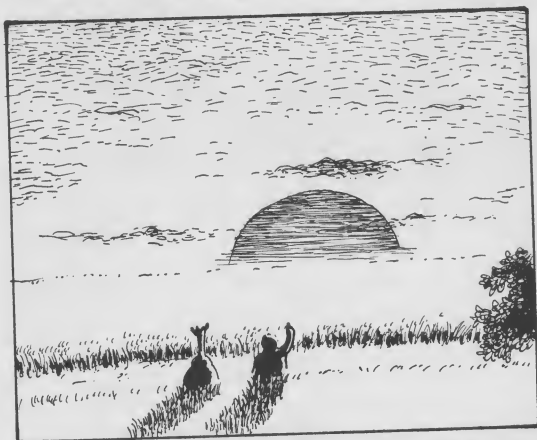
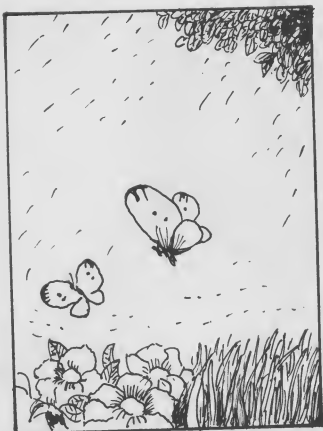
おいしい～

それはクヌギの
汁でつくった
お酒なのです
ポッ

ハリー氏とぼくは
よく二人して
散歩にでかけます

カンカン照りが
よく似合う
キリギリスの野原の
一本道を通って
チョンギース
ギース
チョンギース

雑木林の入口には
大きなスズメバチの巣が
あってそこだけよけて
通ります

林の奥では
きょうも
クワガタ虫の
すもう大会です

ジジジジ…

でもハリー氏はいつも
夕暮れになると
きまってさびしそうな
顔をみせます
それは彼が
カブト虫のくせに
空をとぶことが
できないからだそうです

昔……
カブト虫は
雲の上で
暮らして
いたのです

空とぶハリー氏（想像図）
ゴー

そのかわりハリー氏は
とても面白い特技を
たくさん持っています
なかでも
一番面白いのは
星と話ができることです

その秘密は
このはねに
あるのです

ごらんなさい
星の光をこうして
反射するのです

すると星からメッセージが
送られてきます
それをこのアンテナで
キャッチすればいい
わけです

ピ
ピピピピピ

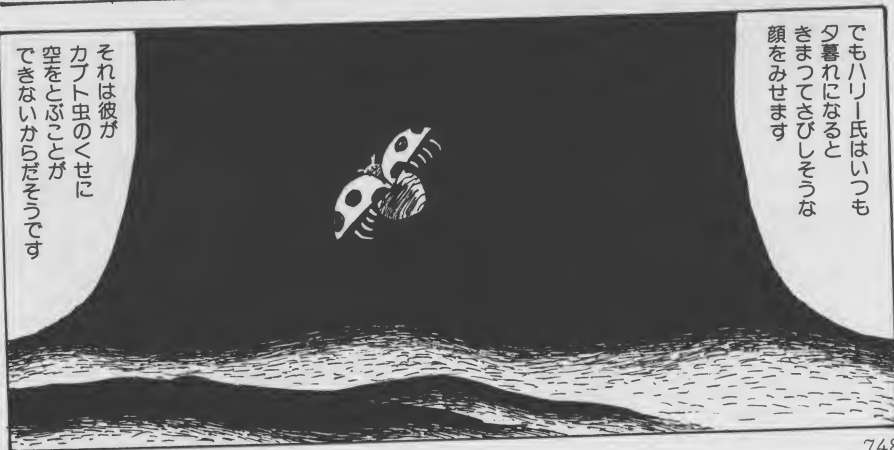
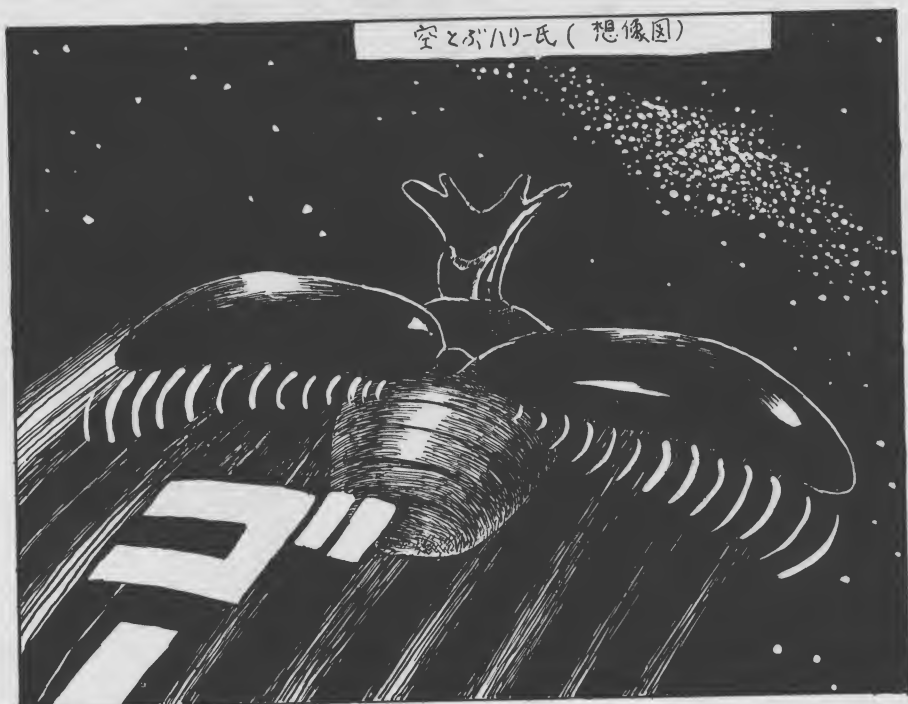
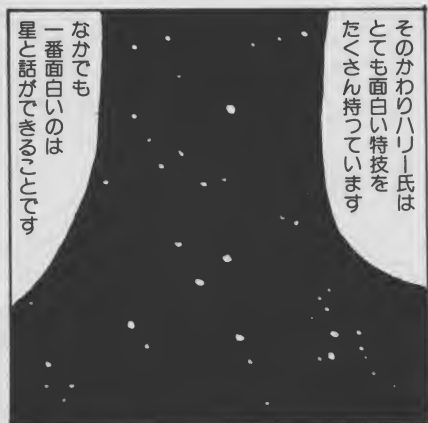
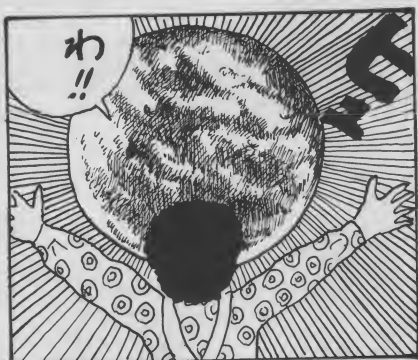
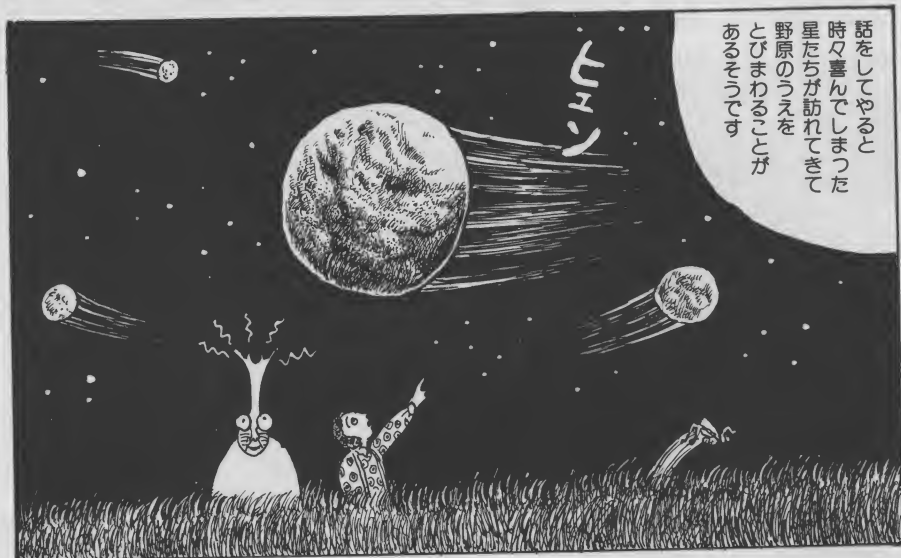
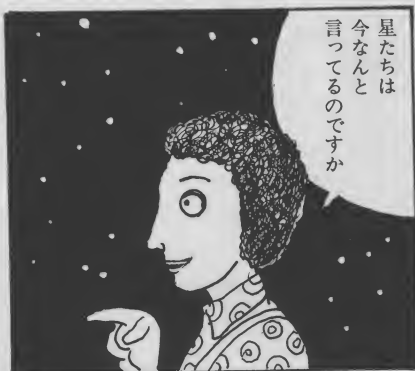
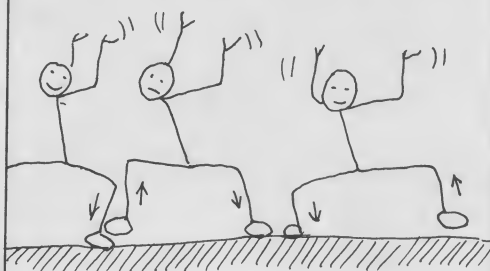
星たちは今なんと言ってるのですか

ピピピピピ
雲がないのでとてもうれしいと言っています

話をしてやると時々喜んでしまった星たちが訪れてきて野原のうえをとびまわることがあるそうです
ヒュン

わ!!

なぜか星たちはあなたのことを警戒しているようです

イヤッハアー

満月の夜には
こうして一晩中
みんなで踊り
あかします

今夜もぼくは
ハリー氏に
会いにいきます
誕生日のプレゼントに
あの宇宙人がぼくを
空とぶ円盤に招待して
のせてくれるのだそうです

カブト虫おどり図解サービス
①
手をなるべく
背中の上にあげ
足をがにまたにする
②
手を交互にふりな
がら首をうんと前
につき出し
③
足をがにまたに開
いたままリズムに
のって のろくさと歩
く

コホン………